

関東食品株式会社 社会環境報告書

2014年度

トップメッセージ 代表取締役社長 深尾 由美子

2004年、電気・紙の使用量削減や配送車の燃費の向上などを掲げて開始したISO14001の活動も時代の流れにあわせ、地産地消、食育推進、地域貢献と、活動の幅を広げてきました。地産地消商品の開発は企画、交渉、生産のプロセスが重要です。上州シュウマイ、上州たまねぎドレッシング、親いもコロケ、彩国ハンバーグなどが定番商品となった結果2006年度900万円の売り上げが2014年度は1億円に届くほどになっています。食育ではKIDSシェフの他、夏休み親子料理教室、だしのとり方教室、わかめのパワーを知る教室などが開催され、多くの方々に好評を得ました。また、衛生管理及び洗剤による環境汚染の防止にも役立つ電解水の生成装置、健康維持に力を発揮する今話題の水素水を手軽に飲める、水素水サーバーの紹介も販売も昨年度から力を入れています。東日本大震災以後のエネルギー利用の観点から太陽光発電の売電事業も本年度ようやく開始されます。社会貢献では、発展途上にあるカンボジアに子供たちが安心して教育を受けられる場を提供できるよう小学校を建設し、贈呈することとしました。このような多彩な活動ができるようになったISO活動に今後も期待するとともに、多くの皆様に関心を持っていただくことを願っております。

特集1 地域社会に貢献する企業活動を目指します

【食育授業支援】そして地域の人々に「食べる」喜びをお届けします

本社笠懸小学校 第一回文化教養セミナー かつおぶしの歴史由来



みどり市笠懸小学校にて「かつお節の製造工程」について食育の勉強会を行いました。保護者の方に、かつお節の一番だしの取り方の実演や市販の顆粒だしの飲み比べを行いました。また、かつおの削り体験をしてもらい、かつお節を削るのは、初めてという人が多く慣れない削り作業に大変そうでしたが、削り立てを「おいしい。香りがいい。」と喜んでくれました。

埼玉支店鶴ヶ島センターの夏休み親子料理教室に協賛

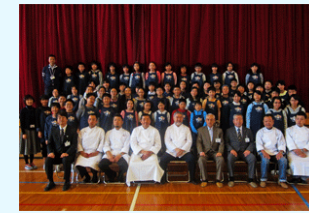
平成26年7月31日と8月1日に鶴ヶ島市学校給食センターにて和食のメニューを調理しておいしく食べようという夏休み親子料理教室を実施いたしました。関東フーズの山中さんに協力していただき、切身の状態から味付け作業をし、味がしみ込むまでの間、山中さんによる鮭の解体ショーが開かれました。子供たちは興味津々で喜んで作業をのぞきこんでいました。味がしみ込んだところでアルミシートを敷いたフライパンに切身をのせて焼いたら盛り付けて完成。フライパンで焼くという工程は家庭でもでき後片付けも簡単ということでお母さん方に好評でした。

後日、栄養士様からおいしくいただき大変良い親子料理教室ができましたと連絡がありました。鶴ヶ島市は地元なので地域貢献できたのではないかと思います。



KIDS-シェフの協賛 <創業60周年記念事業>

KIDS-シェフとはヤヨイサンフーズと日本フランス料理組合が協働で進める、次代を担う子供たちのための味覚の授業です。



今回で49回目となるKIDS-シェフは、2014年10月29日、群馬県高崎市立南小学校で2クラス合同の58名で開催されました。南小学校では、約1年間この日のために準備を行い、当日を迎えました。群馬県の食材をたくさん使ったフルコースがテーブルを飾りました。この日を迎えるにあたり、1年間かけて食材や料理についての調べや、試作などの事前学習に取り組んできました。

まず授業の始めは三國シェフから味覚の講義が行われます。子供たちとコミュニケーションをとりながら、質問を交えながらの授業です。1年間しっかりとKIDS-シェフに向けて学んできたので、三國シェフからの質問にも自信をもって元気いっぱい答えていました。



今回は、教室の様子を中継し、保護者の方にみていただきました。60名近くの保護者の方が集まり、子供たちのがんばりを別室から見守りました。また今回の授業の様子を40分のDVDにまとめ100枚作成して生徒・関係者の方々に贈呈しました。記念になったと大変喜んでいただきました。

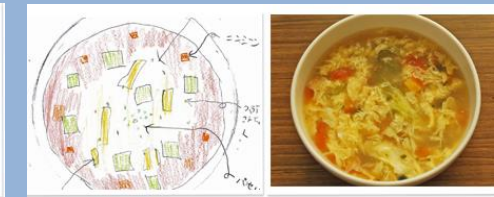
実は弊社の深尾会長はこの南小の昭和12年の卒業生です。70才以上歳の離れた大先輩の登場に子供たちもびっくり!



完成メニュー



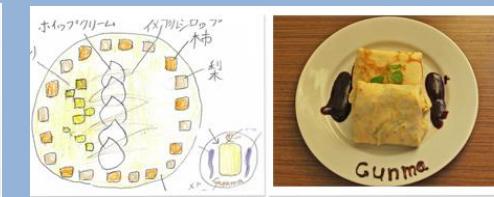
上毛三山プロヴァンサル



群馬の野菜たっぷりスープ



ギンヒカリ塩レモンのパピヨット



秋のGunmaクレープ

キッズシェフに参加して
本社栄養士3名の感想

次代を担う子供たちの味覚の授業、キッズシェフに参加でき私達もとても楽しく勉強させていただきました。自分達が暮らしている地域には素晴らしい食材があることを知るといことは地元の食文化、風土に誇りを持つことだと思います。お肉売り場で「上州牛はあるかな?」とか野菜売場で「どこの人参かな」「白菜は自分の近くで作られているものだ!」と気付いたり、料理・食材に興味を持ってもらえたら栄養士としても嬉しいと思いました。

くわしくはぜひヤヨイサンフーズ様のホームページの環境社会活動へアクセスして下さい

上毛電鉄との焼印玉子焼きの話

子どもたちが、公共交通機関の目的やその役割を知り、理解と関心を深める学習のきっかけづくりとするために、11月の行事食「前橋を味わおう」の一環として、すぐる食品の御協力のもと、前橋市にある上毛電気鉄道の700形車両を模した焼印の付いた「上電たまご焼き」が前橋市内の学校給食に登場しました。



上毛電鉄 700形車両



上電たまご焼き

特集2 人と環境にやさしい事業の輪を広げます

【地域貢献】

埼玉支店 大展示会

昨年8月30日、埼玉支店としては5年ぶりの大展示会をふじみ野市の「きらり☆ふじみ」で開催致しました。昨年は創業60周年という事もあり、80社以上のメーカー、商社の協力のもと、700名以上のお客様に会場していただき大盛況のうち終了致しました。当日、イベントとして山崎製パン様のご協力のもと小学生以下のお子様を対象にサンドイッチ教室を開催、また、地産地消商品や災害時の備蓄品など特設コーナーを設け数多く展示する事が出来ました。



展示会風景

地産地消コーナー

サンドイッチ教室の風景

秩父営業所

秩父営業所はリサイクル活動に力を入れました。段ボール、油の一斗缶は市内の回収業者様へ。調理に使用した後の廃油はバイオマスてんぷら油リサイクル工場バイオディーゼル燃料として製造されます。また、使用済切手は消印を残して切り取り、社会福祉協議会を通じて施設へ送られ福祉の分野で活用されています。



館林営業所



今年が関東食品創業60年の年であると同時に、館林営業所でも20年という節目の年でした。20年も館林という土地にお世話になっている企業として何か貢献出来ることはないかという思いから、「こども安全協力の家」への登録を行いました。こども安全協力の家というのは『地域社会で子どもたちを守る』という活動です。昨今、子供たちを対象とした事件が多発しており、社会問題にもなっています。そんな被害を受けそうになった時に安心して避難できる場所としての登録であり、子どもたちの安全な保護と同時に110番通報をするなどの協力を行うものです。通学路にこのような場所があるということは有事の際の安全対策としてだけでなく、地域防犯意識の高さのアピールにもなり、犯罪の抑止にもなるのではとのお声もいただくことができました。

環境目的	2013年度実績	2014年度実績			2015年度目標
		目標'13比	実績	評価	
電気使用量の削減	1,737,373kw	13年度並	1,699,481kw	2%減 (○)	1,701,155kw (前年並み)
地産地消商品の推進	9,710万円	10%増 (10740万円)	9,760万円	1%増 (△)	9,170万円 (94%)
商品ロス削減	処分品売上差損額	25%減 (1940735円)	3,215,562円	24%増 (×)	21%減 (2524977円)
	賞味期限切れ廃棄	50%減 (922304円)	1,094,545円	41%減 (△)	29%減 (777290円)
	廃棄・破損	25%減 (212946円)	493,414円	74%増 (×)	63%減 (180272円)



関東食品株式会社



*この用紙は再生紙を使用しています

関東フーズの電解水 ～1年の成果～

電解水導入から1年が経過し毎日のアルカリ水による清掃、酸性水による工場内の清掃道具、まな板などの消毒、殺菌、漂白を行っています。

	洗浄作業	消毒作業
電解水導入前	洗剤	アルコール
電解水導入後	アルカリ水 (一部洗剤を使用)	酸性水



電解水の導入後は毎日の清掃作業にはアルカリ水を使用し作業台、作業場の壁、床の清掃を行っています。洗剤の使用量も少なくなり、最後に泡を洗い流す作業も楽になりました。また作業道具、容器類、作業台などの消毒にはアルコールの使用から酸性水による消毒に切り替えました。電解水の導入後は洗剤の使用頻度が減り、アルコールの購入もなくなりコスト削減にも役立っています。アルカリ水による洗浄作業においては弊社細菌自主検査で管理を行い、アルカリ水のタンパク質、油脂汚れの分解により工場排水溝の臭いも浄化できています。工場排水のグリストラップの汚泥が電解水導入後は急激に減り環境負荷も低減できました。

酸性水の漂白効果を利用してまな板、調味料が付着した容器などを漂白しています。漂白剤を使用していないので臭いもなく、取り扱いが非常に安全です。

電解水を導入してから1年が経過しましたが、使用しているものは塩と水なので非常に安心・安全であると同時に管理、作業もしやすいです。



アルカリ水による作業台の洗浄

アルカリ水による排水溝の洗浄

酸性水による清掃道具の殺菌・漂白

本社・電解水のデモ機を利用



高崎本社ではタンクレスタイプの電解水生成機を1台、デモ機として玄関ロビーに設置しています。毎日アルカリ水と酸性水をつくりサンプルを作る調理室や事務所内の清掃に使っています。特に今年はノロウイルス対策として、ドアノブやトイレの掃除にアルカリ水で清掃し、仕上げに酸性水でふき取る作業をはじめました。

また全社の事務所に写真の「噴霧器」を置いています。これは超音波式の噴霧器で酸性電解水を超微粒子にミスト化することにより、次亜塩素酸が空間の隅々まで行き渡り、除菌・脱臭効果を発揮します。事務所内の空間に存在する浮遊細菌やインフルエンザウイルス・ノロウイルスの対策に有効でした。

